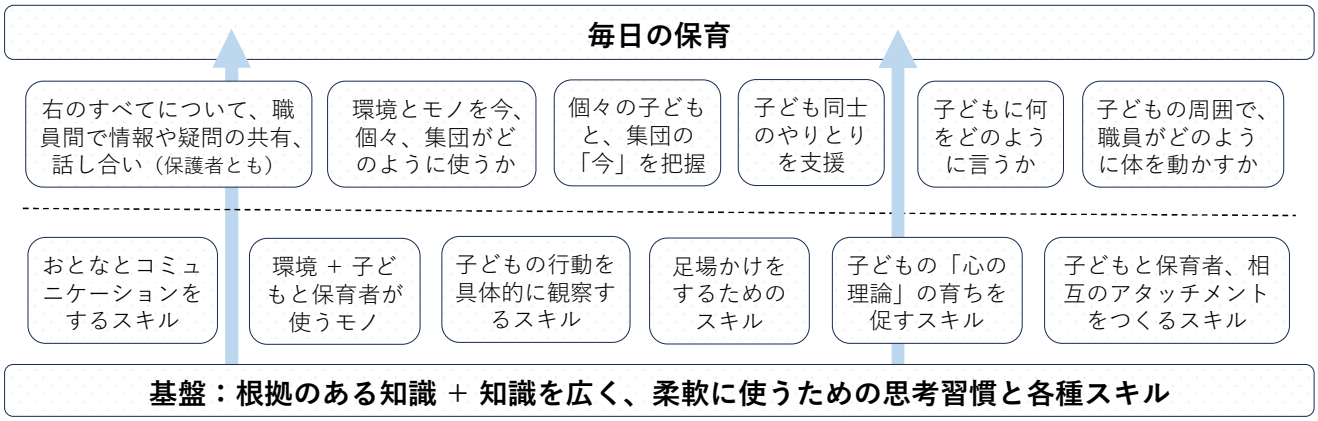
【 保育 1（全景）】環境、モノ、足場かけ(働きかけ、模倣)、やりとり

★ 詳細は各シートに続く

保育は、たとえば、こうした要素すべての相互作用とバランス



上の要素を探してみてください（網羅はしていません）

（以下、性別を想定しないために、すべて「さん」づけ）

同じカップでも、「じっと見る」「なめる」「受け取る⇔渡す」「カチカチ打ち鳴らす」「転がす」から、「向きや大きさを考えずに、入れようとする」や「大きさや色を考える」、「手首を返して向きを変えて入れる」などへ進んでいく。

（スタッキング・カップはたくさんあるから、Aさんがこれだけ使っても大丈夫。…後ろは壁だから、もし、腕を振って投げたとしても誰にもぶつからないな。よし）

「Aさん、コップをしっかり握ってるね」「はい、私が積んでみたよ。Aさんはコップをどうしたい？」

（あ、腕と手を大きく振って壊した。カップが散らばって、喜んでるなあ。落としたり倒したり、大好きな時期だね）

「カップの塔がガシャガシャって壊れた！　うまく壊したね。じゃあ、先生が積むよ…、最初は赤。次が青。もうひとつ青で…」「それは青のカップ。Aさんが乗せてみる？」

（あ〜、向きが逆だけど、乗せられた！　私が何度も積んでいるのを見て、真似をしようとしているのかな。よし、ゆっくり、声に出しながら積んでみよう）

【 朝、２歳児クラスの保育者同士の会話 】

「〇〇先生、誰がお人形にタオルをかけてくれたの？」

「Cさんがね、昨日の帰りに「おやすみ」って言いながら並べて、かけてたよ」…「DさんやEさんは顔も全部覆うようにかけているけど、昨日はCさんが頭を出してかけたんだ。初めてじゃない？」

「機能遊びの『かける』から、再現（模倣）遊びになってきたのかな。Dさんと一緒にミルクも飲ませていたよね。話してみよう」

【 子どもに 】

「Cさん。メリーさんたちがねんねしてるね。みんなにお布団をかけてあげたの？　お布団、気持ちよさそう」

「うん。かけたよ〜。ママとパパが僕にかけてくれるから。『おなかにかけて』って言うの」

「そうか。お母さんがCさんにかけてくれるんだ」（模倣しているんだな、やっぱり。親御さんにも話そうっと）

「うん」

「メリーさんもタロウさんも、おなかがすいてるみたい。泣いてたよ」

「ミルク、あげる！」

「Dさんも一緒にするって」

CさんとDさん「ミルク、つくろう！」

製作：掛札逸美、小倉北ふれあい保育所、青柳淳子。イラストはGeminiによる。未就学児施設の職員が保育や保護者支援に用いる以外の利用は一切お断りします。このシートをコピーする時は、必ずこの文言もコピーしてください。